

## トイレのメンテナンス

トイレが故障すると 誰もパニックに陥りますよね。

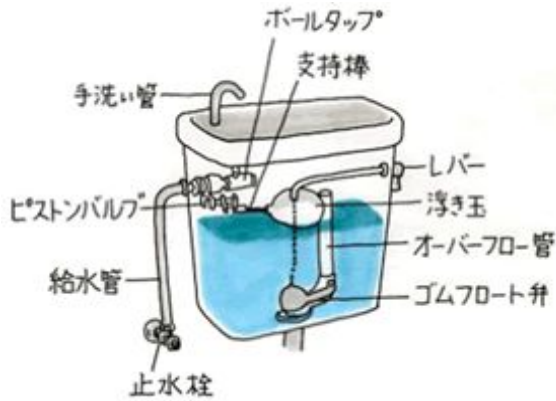
基本的な仕組みと修理法を 把握すれば、突然のアクシデントにも 落ち着いて対処できますよ。

## タンクの構造と 水が流れる仕組み

### ●タンクの構造

水洗トイレのタンクの構造は、意外と簡単です。

タンクには、さまざまな種類がありますが、基本的な原理は かわらないと考えていいでしょう。



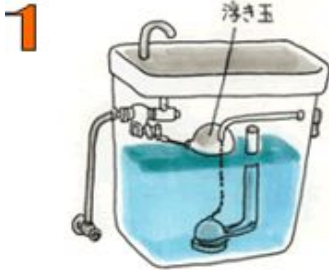
### 修理をはじめる前に気をつけること

タンク内を調べる際は、まず止水栓をとみましょう。そうしないと、水がいきおいよく飛び出すことがあります。ドライバー式はドライバーかコインで、ハンドル式は手で右にまわせばOKです。



止水栓をといたら、ゴムフロートのくさりを上げて、タンク内から排水します。

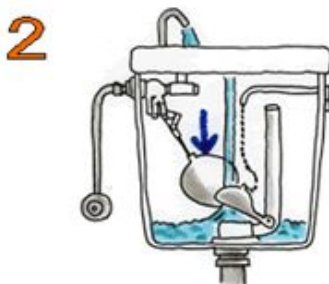
### ●水が流れる仕組み



水を流す前のタンク内の状態。

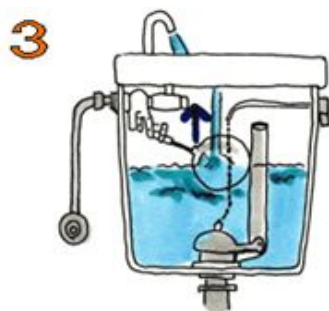
浮き玉が水面に浮かび、オーバーフロー管が 水面から2～3cmでています。

オーバーフロー管は、ボールタップが故障して給水が止まらない場合などにタンク内の水を便器に流して、あふれ出るのを防ぐ役割をしています。



レバーをまわすとゴムフロート弁がくさりで引き上げられ、水が流れます。

水位が下がって浮き玉も下降します。



浮き玉の下降でボールタップの弁が開き、給水が始まります。

水位の上昇で浮き玉が元にもどると給水が止まります。

ボールタップからの給水は、浮き玉の水に浮く性質を利用したものです。

水位に合わせて上下すると 弁が開閉し、決まった水量だけがタンクに入るようになっています。

## さあ修理しましょう!!

トイレのトラブルは、タンクの中を見れば、原因がわかるケースが多いものです。チェックポイントをおさえれば 専門家不要で スムーズに修理することができます。

### ●水が止まらない

用をたして水を流したら、そのまま水が流れなくなった・・・という場合、もし レバーが正常に動くようなら、止水栓をしめて タンクをあけてみましょう。



### ●水位がオーバーフロー管より下なら・・・



浮き玉が支持棒からはずれている場合は、元にもどして支持棒につけ直しましょう。浮き玉が破損している場合もありますので、その場合はとりかえましょう。その際には、メーカーやサイズを確認しましょう。



ゴムフロート弁と排水口の間に何かはさまっていないか、弁がはずれていないか、確認しましょう。くさりがからまっているだけということもあります。

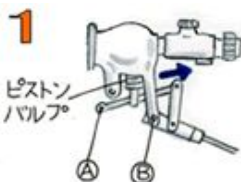
ゴムフロート管に触ると手が黒くなるのは老化しているからです。取り替えましょう。その際には、メーカーやサイズを確認しましょう。

### ●水位がオーバーフロー管より下なら・・・

タンクへの給水が止まらない・・・ということです。

原因は、浮き玉の異常か、ボールタップ内のパッキンの老化が考えられます。

ボールタップのピストンバルブが取れないときは、プライヤーなどで ナットをはずして ボールタップ全体を取り出し、パッキンを交換します。



1 ピストンバルブは、Aのネジをはずして矢印方向に抜いてから、取り出します。取れなければ、Bのネジもはずします。



古いパッキンを取り出し、新しいものを円周の大きいほうを下にしてつけます。元にもどしてネジをしめます。

### ●水が流れない

#### くさりの異常で ゴムフロート弁が 開かなくなっている・・・



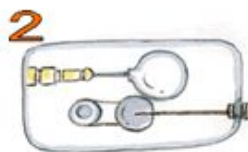
タンクを開けて確認しましょう。

- 1.はずれていたなら、元にもどしましょう。
  - 2.切れていたら、針金などで つなぎ合わせましょう。
  - 3.古くなっていたら、新しいものを入手して 交換しましょう。
- くさりの長さは、少したるむ程度にします。

## タンクに水がない場合は、浮き玉を点検する...



1 浮き玉が タンクに引っかかって下がらず、手で押してみても直らない場合は、支持棒ごとはずし、支持棒の部分を少し曲げて調節します。



2 浮き玉と支持棒の接合部のネジがゆるんでないかを確認してから、タンク内に 付け直します。  
引っかからない方向にとめておいて、小ナットを回して固定します。

★ボールタップが汚れて、ピストンバルブの作動に支障をきたしていることもあります。くさりや 浮き玉に問題がなければ、ピストンバルブを取り出し、ブラシや サンドペーパーで水アカを落します。

★止水栓がしまっているだけということもあるので必ず確認してください。